

# 1. 名西消防組合の沿革

昭和52年 9月22日	名西消防組合設立推進協議会が発足された。
昭和52年10月27日	第1回名西消防組合設立推進協議会を開催。
昭和53年 3月 1日	第2回名西消防組合設立推進協議会を開催。
昭和53年 4月24日	名西消防組合設立について徳島県知事に許可申請する。
昭和53年 5月11日	地方自治法第284条第1項の規定により許可を受ける。
昭和53年 6月20日	第3回名西消防組合設立推進協議会を開催。
昭和53年 6月23日	名西消防組合第1回組合議会を開催。
昭和53年 7月 1日	石井・神山両町から事務職員3名出向する。
昭和53年11月 1日	消防職員30名採用する。(消防署長2名、消防士長5名、消防士23名)
昭和53年11月 7日	初任科教育のため、徳島県消防学校に28名入校する。
昭和54年 3月15日	消防本部及び石井消防署の敷地及び庁舎を石井町から無償貸付契約に基づき借受ける。
昭和54年 3月23日	救急自動車(社団法人日本損害保険協会寄贈)を石井消防署に配置する。 救急自動車(徳島県共済農業協同組合連合会寄贈)を神山消防署に配置する。
昭和54年 3月26日	消防ポンプ自動車(トヨタFJ 56 BD-1型) 1台、広報車1台並びに消防専用超短波無線電話一式は、石井町から無償貸付契約に基づき借受け、石井消防署に配置する。 神山消防署の敷地及び庁舎並びに、消防ポンプ自動車(トヨタFJ 56 BD-1型) 1台、広報車1台、可搬式動力消防ポンプ(B-3級) 1台、消防専用超短波無線電話一式は、神山町から無償貸付契約に基づき借受ける。
昭和54年 4月 1日	消防本部並びに、石井・神山消防署の開署式を行う。 消防業務及び救急業務を開始する。 石井町から事務職員1名出向。(出向者4名となる)
昭和54年 9月27日	消防専用超短波無線電話4台を石井消防署に設置する。
昭和55年 4月 1日	消防職員3名採用する。(事務職員を含め37名となる)
昭和55年 6月 4日	署長(近藤 清)退職。
昭和55年 6月16日	消防職員1名採用する。
昭和55年 8月 1日	携帯用無線電話2台を神山消防署に設置する。
昭和56年 2月24日	船外機付救助用舟艇一隻(石井町 近藤一行氏寄贈)を消防本部に配置する。
昭和56年 9月 1日	消防職員1名採用する。(事務職員を含め38名となる)
昭和56年 9月25日	救助訓練塔を消防本部に設置する。
昭和57年 7月15日	携帯用無線電話2台を石井消防署に設置する。
昭和57年12月31日	消防長(大野治助)退職。
昭和58年 1月 1日	消防職員1名採用する。
昭和58年 8月 8日	小型動力ポンプ積載車を神山消防署に配置する。 小型動力ポンプ(C-1級)1台を石井消防署に配置する。
昭和58年11月 7日	携帯用無線電話1台を神山消防署に設置する。
昭和59年 8月30日	救急自動車(日本消防協会寄贈)を石井消防署に配置する。
昭和59年12月31日	署長(佐々木功)退職。

昭和60年 1月 1日	消防職員1名採用する。
昭和60年 3月27日	車載用無線機(10W)を石井消防署に設置する。
昭和60年 4月 2日	消防ポンプ自動車(日本損害保険協会寄贈)を神山消防署に配置し、更新する。
昭和60年11月 7日	防火広報車(日本防火協会寄贈)を消防本部に設置する。
昭和60年 7月15日	石井町から事務職員1名出向する。(事務職員を含め39名となる)
昭和61年 3月27日	石井消防署車庫及び事務室の増改築工事が完成する。
昭和61年 6月 1日	神山消防署の車庫新築及び食堂の増改築工事が完成する。
昭和61年 8月 1日	救急自動車(日本消防協会寄贈)を神山消防署に配置し、更新する。
昭和61年10月15日	車載用無線機(10W)を神山消防署に設置する。
昭和62年12月10日	消防職員1名退職。(事務職員を含め38名となる)
昭和63年 1月 1日	石井町へ消防職員1名出向する。(事務職員を含め37名となる)
昭和63年 1月30日	神山消防署の指揮車を更新する。
昭和63年 3月25日	石井町内谷・尼寺地区119番転送工事が完成する。
昭和63年 3月31日	消防長(岩本治芳)退職。
昭和63年 4月 1日	消防職員5名採用する。(事務職員を含め41名となる)
平成 1年 3月31日	神山消防署のトイレ水洗化工事が完成する。
平成 1年12月15日	石井消防署の消防ポンプ自動車(CD-1)を更新する。
平成 2年 3月31日	署長(近下 守)退職。
平成 2年 4月 1日	石井町から職員1名出向する。
平成 2年 7月10日	神山消防署の救急自動車に防振ストレッチャーを設置する。
平成 2年11月14日	小型動力ポンプ(B-2級)2台を購入し、両署に配置する。
平成 3年 3月 1日	石井消防署の指揮車を更新する。
平成 3年 7月31日	神山消防署に資器材搬送車を配置する。
平成 3年12月13日	車載用無線機(10W)2台、携帯用無線機(5W)4台を石井消防署に設置する。
平成 3年12月26日	石井消防署に資器材搬送車を配置する。
平成 4年 6月19日	石井消防署の救急自動車を更新する。
平成 4年 8月26日	携帯用無線機(1W)3台を神山消防署に設置する。
平成 5年 2月26日	石井消防署仮眠室兼車庫の増築工事が完成する。
平成 5年 3月31日	消防長(大栗信常)退職。
平成 5年 4月 1日	消防職員4名採用する。(事務職員を含め44名となる)
平成 5年 8月25日	救急自動車(日本消防協会寄贈)を神山消防署に配置し、更新する。
平成 6年 3月24日	石井消防署に小型動力ポンプ積載車を配置する。
平成 6年 3月25日	神山消防署庁舎庇拡張工事及び通信室内部改造工事が完成する。
平成 6年 4月 1日	消防職員3名採用する。(事務職員を含め47名となる)
平成 6年12月15日	石井消防署外部補修工事が完成する。
平成 7年 1月17日	阪神・淡路大震災へ職員派遣。
～ 3月 3日	(第1次から第5次まで14名)
平成 7年 7月25日	石井町内谷・尼寺地区119番直通回線設置のため転送電話廃止。
平成 8年 5月15日	携帯電話機4台(石井消防署2台、神山消防署2台)を設置する。
平成 8年10月25日	石井消防署通信指令室及び車庫増築工事完成する。
平成 9年 2月28日	神山消防署庁舎防水工事完成する。
平成 9年 3月25日	神山消防署庁舎外部階段及び手すり塗装工事完成する。

平成 9年 4月 1日	石井町へ消防職員1名出向する。(事務職員を含め46名となる)
平成10年 3月10日	石井消防署の便所改築工事が完成する。
平成10年 3月11日	神山消防署の事務室増築工事が完成する。
平成10年 4月 1日	神山町へ職員1名出向する。 消防職員2名採用する。(事務職員を含め47名となる)
平成10年 4月17日	救急救命士国家試験に1名合格する。
平成10年 8月19日	水槽付消防ポンプ自動車(1-A型・社団法人日本損害保険協会寄贈)を石井消防署に配置する。
平成10年 9月24日	神山消防署の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新する。
平成11年 2月26日	ホース洗浄機一式(石井町 河崎幸氏寄贈)を石井消防署に配置する。
平成11年 4月 1日	消防職員1名採用する。(事務職員を含め48名となる)
平成11年 4月14日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士2名となる)
平成11年 8月 6日	石井消防署に資器材搬送車を配置する。
平成11年11月24日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士3名となる)
平成12年 4月 1日	石井町へ職員1名出向する。 消防職員1名採用する。(事務職員を含め48名となる) 徳島県消防防災ヘリコプター要員1名を派遣する。(3年間)
平成12年 9月30日	署長(坂野明義)退職。
平成13年 3月12日	神山消防署庁舎補修工事が完成する。
平成13年 3月14日	石井消防署庁舎倉庫増築工事が完成する。
平成13年 4月 1日	消防職員1名採用する。
平成13年 5月 2日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士4名となる)
平成13年 7月 6日	石井消防署の消防ポンプ自動車(CD-1型)を更新する。
平成13年 8月23日	石井消防署に救助工作車(Ⅱ型)を配置する。
平成13年11月30日	神山消防署の水道補修工事が完成する。
平成14年 5月 1日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士5名となる)
平成14年11月26日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士6名となる)
平成15年 2月28日	消防職員1名退職。(事務職員を含め47名となる)
平成15年 3月20日	石井消防署の仮眠室補修工事が完成する。
平成15年 3月31日	消防長(原 勝美)退職。
平成15年 4月 1日	消防職員1名採用する。
平成15年 5月14日	救急救命士国家試験に2名合格する。(救急救命士8名となる)
平成15年10月15日	神山消防署に高規格救急車を配置する。
平成15年11月26日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士9名となる)
平成15年11月28日	神山消防署の指揮車兼搬送車を更新する。
平成16年 3月31日	事務職員1名退職。
平成16年 4月 1日	石井町から消防職員1名出向する。 消防職員2名採用する。(49名となる)
平成16年10月27日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士10名となる)
平成16年12月 1日	石井消防署に高規格救急車を配置する。
平成17年 8月 8日	石井消防署の指揮車を更新する。
平成18年 2月28日	神山消防署庁舎外壁防水工事が完成する。
平成18年 4月 1日	徳島県消防防災ヘリコプター要員1名を派遣する。(3年間)
平成18年 8月 8日	石井消防署の消防車に電動ホースカーを設置する。

平成19年 5月 1日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士11名となる)
平成19年12月27日	庁舎耐震診断を委託する。
平成20年 3月31日	消防長(有井 清)退職。
平成20年 4月 1日	消防職員1名採用する。
平成21年 3月31日	消防長(高力 重佳)退職。
平成21年 4月 1日	消防職員1名採用する。
平成21年 4月20日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士12名となる)
平成22年10月 7日	神山消防署に消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新する。
平成22年12月27日	消防本部及び石井消防署耐震化工事完了
平成23年 3月14日	東日本大震災へ緊急消防援助隊としてポンプ車1台、職員5名を派遣
平成23年 3月31日	消防職員3名退職する。
平成23年 4月 1日	消防職員3名採用する。
平成23年 4月 8日	救急救命士国家試験に1名合格する。(救急救命士13名となる)
平成23年11月 1日	神山消防署を神山町役場の南に移転。敷地及び庁舎を神山町から使用 貸借契約に基づき無償で借り受ける。
平成23年11月 4日	神山消防署の開署式を行う。
平成23年11月 7日	JA農協から助成金を受け神山消防署に新しく高規格救急車及び高度 救命処置用資機材を配置する。
平成24年 4月 1日	消防職員2名採用する。(51名となる)
平成24年11月16日	石井消防署に指揮支援車を配置する。
平成24年11月22日	石井消防署に新しく高規格救急車及び高度救命処置用資機材を配置す
平成25年 3月31日	消防職員2名退職する。
平成25年 4月 1日	消防職員3名採用する。(52名となる)

## 2. 名西消防組合の位置

本組合は、都市近郊の石井町と山村の神山町との2町で構成され、本部は四国山脈と讃岐山脈の山峡をぬって東流する吉野川右岸、農住の町石井町に位置し、石井消防署と併設している。神山消防署は、すだちの里神山町の中心地に置かれている。

名称 位置	消 防 本 部	石 井 消 防 署	神 山 消 防 署
	東 経	134° 26' 32"	134° 26' 32"
北 緯	34° 04' 34"	34° 04' 34"	33° 58' 00"
所 在 地	徳島県名西郡石井町 高川原字高川原66 - 8	本 部 併 設	徳島県名西郡神山町 神領字本野間97番

※経緯度は世界測地系(日本測地系2000)に従った座標値です。  
(国土地理院 地図閲覧サービスから取得)

## 3. 管内町勢

区分 行政区分	面 積	平成25年3月31日現在	
		世 帯 数	人 口
石 井 町	28.83Km <sup>2</sup>	10,094戸	26,692人
神 山 町	173.31Km <sup>2</sup>	2,612戸	6,240人
計	202.14Km <sup>2</sup>	12,706戸	32,932人

# 4. 消防機関配置図

凡 例	
	消防本部
	消防署
	消防団本部

